



下條正男

しもじょう・まさお 長野 第5期竹島問題研究会の座長  
出身。国学院大学院博士 を務める竹島研究の第一人者  
課程修了。1999年から拓 殖大教授を務め、2021年  
3月末で退官した。島根県の 論説委員を務めた。拓殖大名  
誉教授。74歳。

韓国（ハルビン市）の三陟市に、竹島問題  
を観光資源とした「三陟  
異斯夫独島記念館」が9月  
3日、正式オープンした。  
同市は7月23日から1カ月  
間、試験的に開館したが、  
その間の来館者は1万4千  
人を超えたという。

地方自治体の試みとして  
は成功事例であろう。独島  
記念館の総面積は約327  
5平方メートルで、日本政府が東  
京・霞が関に移転した「領  
土・主権展示館」の5倍ほ  
どの広さがある。

記念館は「ウエルカムセ  
ンター」、「異斯夫館」、  
「独島体験館」（独島メデ  
イアート館）、「ライブ  
ラリー喫茶館」の4棟から  
なり、入館料は大人6千ウォ  
ン（約600円）、小人3千ウォ  
ン（約300円）という。

三陟市のある江原道は島  
根県の対岸にあり、北朝鮮  
に隣接した地域で、隣の慶  
尚道と比べても経済的に発  
展した地方ではない。

### ■3館で島を一周

同市によると独島記念館  
は、異斯夫將軍の海洋開拓  
精神と環東海圏の文化・歴  
史・観光拠点の一環として  
開館されたもので、館名は  
512年に于山国（鬱陵島）  
を征服した新羅の異斯夫將  
軍に由来するという。そこ  
に独島・竹島があるのは、  
その時に独島が韓国領にな  
っていたからだという。

同市の三陟観光文化財団  
によれば、独島記念館には

## 韓国の戦略的対策



日本政府が東京・霞が関に移転した「領土・主権展示館」

### 展示の目的

領土・主権展示館  
NATIONAL MUSEUM OF  
TERRITORY AND SOVEREIGNTY

# 竹島問題を観光資源に

領土教育と歴史問題をイシ  
ュー（論点）にしたテーマパ  
ーク的な機能を持たせて、  
竹島問題を地域振興の観光  
資源としたのだという。

現在、韓国内にはこの種  
の施設として韓国政府（文  
化体育部）傘下の「東北ア  
ジア歴史財団」が所管する  
「独島体験館」が全国に17  
館あり、鬱陵島には「独島  
博物館」「安龍福記念館」  
「独島義勇守備隊記念館」  
がある。それも鬱陵島にあ  
る3館の場合、そこを訪れ  
れば島一周の観光ができる  
ことになっている。

### ■解決見えず20年

竹島問題を観光利用する  
考えは2006年、最初の

「竹島の日」記念式典の際  
に、私も講演で提案した。  
それが07年、島根県議会の  
英断で「竹島資料室」の開  
設につながった。その後も  
隠岐諸島と韓国・鬱陵島の  
間を隠岐汽船で結び、日韓  
相互に往来することで竹島  
問題に対する理解を深め、  
問題解決に結び付けようと  
提案してきたが、実現には  
至っていない。

独島記念館を紹介する映  
像を見ると、最先端の技術  
を駆使した参加型の施設に  
なっている。霞が関の領土  
・主権展示館と比べれば、  
アナログとデジタルほどの  
違いがある。竹島を不法占  
拠する韓国側では「独島死  
守」をスローガンに戦略的

な対応をしてきたからだ。  
韓国は05年4月に「東北  
アジアの平和のための正し  
い歴史定立企画団」を発足  
させると、06年9月には改  
組して「東北アジア歴史財  
団」とし、08年には「独島  
関連の中長期の総合的な対  
応、戦略及び政策建議」を  
主たる目的とした「独島研  
究所」を開設している。現  
在、韓国国民の多くが「独  
島死守」の気概（民族感情）  
を持っているのは、政府に  
よる「持続的」な政策が功  
を奏しているからである。

一方、島根県議会が「竹  
島の日」条例を制定したの  
は、竹島の「領土権確立」  
のためであった。「竹島の  
日」条例の趣旨は、領土問  
題を解決し「竹島の日」を  
なくすことであった。

そこで私は5回目の「竹  
島の日」記念式典に合わせ  
た講演で、早く解決し「竹  
島の日」はやめるべきだと  
お話しした。しかし、「竹  
島の日」は来年で20周年を  
迎える。

韓国の地方自治体は竹島  
問題を活用して、地域振興  
に結び付けている。日本で  
は情報発信の場として領土  
・主権展示館を開いたが、  
訪れる人はまれである。竹  
島問題の打開を政府に任せ  
ても、現状は難しい。